

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

- ① ESDの視点で、学校全体で取り組み、地域の豊かさとみつけようと地域を題材とした各学年の単元で人・もの・自然とすすんで関わり、社会に対するかかわりをもてるような教育活動を展開してきた。昔遊びや七夕飾りづくり、野菜づくり、ヤゴ取りなど校区探検やキャリア教育での協力を得ている。
学校行事では「地域防災訓練」、「TNP会議」（小中学生と地域の大人たちがよりよい校区にするために何ができるかを話し合う）、「あいさつ運動」（小中学生や地域の大人が登校時に活動）、「特別支援学校交流」（隣接している支援学校小学部のふれあい）、「地域へのお祭りへの主体的活動」（和太鼓演奏など）、「感謝の会」（児童が地域の方へ感謝の気持ちを表す）など地域の方の協力があり、継続的な学習ができた。
 - ② 総合的な学習や生活科と教科・領域を横断的につなぐESDカレンダーをつくり、どんな力を育みたいのか、どんな題材や教材を使って、体験や言語活動をするのかを明らかにしてきた。発問を引き出し、対話を進め、協働する場面が意図的につくることができた。
各学年で教育課程を見直しながらESD教育活動が浸透させてきた。また、学校と地域が協力しながら学習や取材活動ができた。授業の支援活動や交通安全ボランティアなど多方面にわたって協力していただき、円滑に教育活動が実施できた。夏季には、地域教育ボランティアコーディネーター（校区自治会副会長）と校長が「子どもの学びと家庭・地域の絆を紡ぐ」と題し、豊橋市小中学校の担当者に本校の取り組みや体制を発信する機会を得た。今後も地域のSD（持続発展）のために課題解決にむけて、人の行動変容を支えるサイクル（知るー考えるー気づくー行動する）が回っていくようにベストを尽くしていく。
 - ③ 子ども見守り隊、図書館整備、読み聞かせ、国際放課後教室、プール指導、サマーフェスタ&バザーなどの分野で年間延べ1500名を越えるボランティアの方々の協力をいただいていた。
- 地域や社会に対する関心を高めるために、平和・公正さ・人間の尊厳・多文化共生・有限性・循環などの価値観を共有するような日々の教育活動を充実させている。地域のステキな人、地域のステキな自然、地域のステキなものを発見し、大切に思い、「わたしもこうなりたい、こうしたい」という心を育て、未来への責任感を育てていく。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）